

2018.09.22 (土)

## 川崎支部 第一回ミステリーツアー (ご報告)

### －川崎の史跡を通して歴史をめぐる「ちい散歩」です－ (2 時間 30 分)

川崎支部 支部長 赤津武雄

明日はお彼岸の中日です。前日の開催日の朝は雨で開催が危ぶまれましたが、昼からは快晴となり汗ばむ心地よい気候となりました。毎年のお花見の開催地である津田山駅前に集合し、そこで初めて行き先のルート地図が渡されます。集合するまでは何処に向かうのか期待と不安が入り組んでいます。

- ① 最初の訪問地である川崎市営緑ヶ丘霊園は東京ドーム 13 個分の大きさで、その入口に津田山霊園内の作延城跡があり、北条政子の妹を妻に持つ枳形城主・稲毛三郎重成の許に、源頼朝が立ち寄ったそうです。
- ② 緑ヶ丘霊園の長い小道を 15 分ほど歩くと、御座船をつないだ杭から生えたという綱下ヶ松伝説のロマンあふれる松寿弁財天になります。ご神体は白蛇です。多摩区宿河原にある常照寺には、「松寿弁才天図 (しょうじゅべんざいてんず)」という川崎市重要歴史記念物の所蔵弁財天が、竜のような生き物の上に座っている弁財天図があり、かつて江戸時代に起こった、多摩川の氾濫をモチーフとしている様です。「洪水によって流された村人が、1 本の松から下げられた白い布を頼りに丘へ避難してみると、その布は弁財天が遣わした白いへびであった」という言い伝えが、この地に残っている様です。
- ③ 東高根森林公園で便所休憩とし、東名高速道路を見ながらツツジで有名な等覚院 (正式には天台宗神木山等學寺と呼び、毎年 9 月 15 日 のぜんそく平癒祈禱が有名です。住職が毎月 28 日に発効する寺報を発行していますので、訪れた際には入口の戴いて下さい。) を横目でにらみ、長尾神社へ、更にアジサイ寺で人気の妙楽寺へと到着します。縁側に腰かけ疲れを癒すのも一考です。正式名は長尾山薬王院妙楽寺で創建は 851 年と伝えられています。鎌倉幕府を開いた源頼朝とも深い関係があったと推定される、大変に由緒あるお寺で、川崎市が散策コースとして指定した「長尾の里めぐり」のルートの一部にもなっています。鎌倉時代には源頼朝の弟弟全成 (幼名今若丸) が住職を務めていたこともあったという大寺だったといえます。[関東百八地藏霊場](#) 83 番です。毎年 6 月の第 3 日曜日に、川崎市多摩区长尾の妙楽寺境内において「長尾の里 あじさいまつり」が開催されます。妙楽寺では、本堂南

西側と山門南西側の斜面に 28 種約 1000 株のアジサイが植えられており、梅雨真っ盛りの 6 月中旬ごろに満開の見ごろを迎えます。

- ④ 妙楽院で涼を取った後は、府中街道と併走する二ヶ領用水を渡り、秋の七草を開催していた緑化センターを通過し、宿河原駅と登戸駅の間にある腰をかがめて通るガード下が有りました。丁度南武線が上部を通過しましたが、レールの音がかなり響きます。鉄道好きの方には、美音に聞こえるでしょう。

次回も開催しますので、是非参加して下さいね。



(作延城跡)



(松寿弁財天)



(妙楽寺)



(ガード下ー上部を南武線が通過中)